

新飯能

発行
日本共産党
飯能市議会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sig@
pluto.plala.or.jp

埼玉県政と私たちの暮らし

投票に行つて県政を変えよう!

いま、暮らしと県政の問題が厳しく問われています。

埼玉県は、子育てや福祉、医療、教育、中小企業・農業などの予算を削減し、効率優先で民サービス切り捨ての行財政改革が強行されてきました。

県は全国5番目という豊かな財政力がありながら、無駄な大型開発に財政を投入していることが県民生活にしわ寄せとなっているのです。

人口減少、企業数横ばい状態と節水などで首都圏の水は余ってきています。これ以上ダム建設な

どは必要のないにハツ場ダム、霞ヶ浦導水路、思川開発に約1200億円もの財政を投じようとしています。

水あまりの中でのダム建設

県水を受水している県下の自治体では、県水受水契約の見直しを求める声も出ています。

しかし、県はハツ場ダムなど国とともに建設を推進していることから、応じようとしていません。飯能市でも有間ダムの水で十分間に合っている



街頭演説を聴く聴衆

県内の医療従事者数

	医療従事者数	10万人あたりの医療従事者数	全国平均(10万人あたり)	埼玉県の全国順位
医師数	1万1143人	154.5人	237.8人	最下位
看護師数	3万8109人	528.4人	796.6人	最下位
准看護師数	1万4877人	206.3人	280.6人	41位
助産師数	1280人	17.7人	25.0人	最下位
保健師数	1719人	23.8人	37.1人	46位

人口10万人あたりの病床数

茨城	1102.6
栃木	1092.8
群馬	1245.9
埼玉	856.2
千葉	923.3
東京	959.7
神奈川	815.8
全国平均	1236.3

のに、現在、日量4000トンの県水を購入し、将来5500トンまで増量する契約になっていきます。従来からの人口増計画にもとづく受水計画を各自自治体の実態に合わせて、見直すことが求められるのではないのでしょうか。

医師数、看護師は全国最下位

10万人あたりの医師数は、154.5人で、東京都の2分の1、全国最下位、同病床数は、856.2床で全国で2番目

戦争法反対署名に怒りの言葉を添えて

日本共産党飯能中央支部・同後援会は、「日本を戦争する国」にする「戦争法案」に反対する署名用紙と返信用封筒、



facebook始めました

日本共産党飯能市議団と4名の議員は、facebookを始めました。新飯能も双方向型の紙面にしてい

くためにも、みなさんからのご意見、投書などお寄せください。議員団のホームページの改善、ブログも近々ごらんになれるよう努力し



に少ない状況で、救急搬送の受け入れ拒否や小児科、産婦人科、外科などで、医師不足による休診など深刻な事態も起こっています。



チラシをセットにして後援会ニュースを読んで頂いているお宅に届けました。この間41通116筆が返信されてきました。2名の方から、「日頃のご活躍に感謝します。大変遅くなりましたが、安倍総理は恐ろしい」と言っている都内在住の101歳の母にも昨日署名してもらいました。「アベ(漢字でなんか書きたくない)の暴挙に怒りが沸きたちます。自彊

術(健康体操の一種)の仲間(健康体操の仲間)に声をかけたところ、もつと用紙はないの？と言う声がありました。ふつうのおばさんと言っている人たちが、この国の行方を心配しているのです」という一文が添えてありました。

多くの反対の声を無視して強行するなど絶対に許せません。もつと署名を集めて必ず廃案にさせましょう。まだ自宅にある方はお送りください。中央支部・同後援会

波紋

渋谷の「だれの子どもも、ころさせない」と、母親たちの戦争法「絶対反対」のデモの二重入を見て、金子光晴の詩集をひらいてみました。詩人は「雪」という詩のなかで、雪よ。もつとふれ。もつと積れ。すべの連絡を途絶せよ。そして音信を不通にしろ。と言葉を重ねています。それは、きいても吐気のくる赤紙がノ子の手もとへは届かないように、ノ雪よ。八尺も、十尺もふれ。というものです。実際に金子光晴は、むすこを雨のなかに立たせたり、部屋の中を生松葉でいぶしたりして、病気にして、徴兵拒否の必死の抵抗をこころみたのです。光晴の時代にはそれは孤独な命がけのたたかいでしたが、今は違います。仲間がいます。同じ思いの人が手をつなぐことができます。「安保健連法案に反対するママの会」はまたたく間に29都道府県につくられたとい

います。命を産み育てる母親の力は強い。

医療、介護を守る大運動を

社会保障をよくする会が総会

29日、飯能市社会保障をよくする会は、総会を行いました。

会長の野尻一夫さんの挨拶のあと、金子敏江市議が「皆さんと力を合わせて、署名運動や幅広い取り組みの中で、子ども医療費を中学3年生まで無料にしてきたこと。障害児、一人親家庭の医療費窓口払いをなくすことができた。今、県知事選挙が行われていますが、戦争法案に反対し、県民のくらし・いのちを守る事をかかげる候補者を知事に押し上げましょう」と挨拶をしました。

各団体の活動報告では、飯能民商から、「戦争法案は廃案に」、「消費税を5%に戻すこと」、「所得税法第56条の廃止を求め



る請願」の3つの署名に取り組んでいくこと。

新日本婦人の会では、子ども医療費が実現し一段落しているが、ゴミの問題から平和の問題まで取り組んでいくこと。すぎのこ分会からは、子ども子育て新制度になり心配したが、今のところ大きな問題はないとのこと。

補助金のことが今後どうなるか心配はある。子どもたちを戦争に行かすわけにはいかないと署名活動をしていることなどの報告がありました。

国保都道府県化は増税になる

記念講演では、埼玉県社会保障推進協議会事務局長の川島義男さんが「国保をめぐる情勢と運動の方向」をテーマに、講演しました。

最初に、社会保障をめぐる情勢として、5月27日に強行された「医療保険制度関連改悪法」は国保法など27本の法律が改正され、今後問題にな

ると報告。

国保の都道府県化は、県が財政運営の責任主体となり、国が示す標準保険料を各市町村に示す。市町村は、県から示された「納付金」を100%納める。しかし、現在でも滞納が2割、収納率が8割と言うのが実態であり、滞納を見込んで国保税を引き上げることになる。特に、一般会計からの法定外繰り入れを多くしている自治体は、相当値上げをすることになるだろう。詳しいことは、

8月に出されるガイドラインに示されるので、市に向けて働きかけることが大事になる。

負担増は、後期高齢者医療も入院給食代も、紹介状なしで大病院受診額自己負担、保険外診療の拡大など「国民皆保険」の解体につながる。社会保障充実と戦争法は相容れないもの、知事選が行われているが戦争法案反対かかげる候補で県政を変えようと話されました。

内閣支持率急降下 不支持が過半数

内閣支持率急落 37.7%

報道各社の内閣支持率	支持(%)	不支持(%)	調査日
共同通信	37.7	51.6	17~18日
朝日新聞	37	46	18~19日
毎日新聞	35	51	17~18日
読売新聞	43	49	24~26日
日経新聞	38	50	24~26日
テレビ東京			
産経新聞	39.3	52.6	18~19日
FNN			
NHK	41	43	10~12日
日本テレビ	39.7	41.0	10~12日

報道各社が最近行った世論調査の結果(上表)は、軒並み内閣支持率が大幅に落ち込み、不支持率が支持率を上回っています。

内閣支持率は危険水域といわれる30%に近づきつつあります。

共同通信社が17、18両日に実施した全国電話世論調査では、内閣支持率は37.7%で、前回6月の47.4%から9.7ポイント急落した。不支持率は51.6%(前回43.0%)と過半数に達

高声 介護保険料

今年度介護保険料の納入通知が市から届いた。3年ごとに見直しがあるのは承知済みですが、しかし、中身をあけて金額の多さにあきれてしまいました。

長年二人とも持病を抱えており、定期的にお医者様のお世話になっている状態です。近い将来、仮に一人あるいは二人共々要介護の暁において市あるいは国が

や欠席する中、安全保障関連法案を採決し、可決したことには「よくなかった」との回答が73.3%を占めました。「よかった」は21.4%。安保法案の今国会成立に反対が68.2%で前回から5.1%増え、賛成は24.6%でした。

し、平成24年12月発足の第2次安倍政権以降で初めて支持と不支持が逆転しました。与党が16日の衆院本会議で、多くの野党が退席

ました。特に、若者・学生、ママたちが立ち上がったのです。未だ衆議院を通過しただけであり、参議院は始まったばかりです。

この法案の外国で戦争する体制作りの実態は国民にあきらかになります。支持率を気にする安倍内閣、「平和の党」の看板おろせと党本部前に抗議の声。安倍内閣が立ち往生状態になる日はそう遠くないのではないのでしょうか。

介護の必要に応じ世話をしてくれるものか、不安が払しょくできません。現在、既に「介護施設」あるいは「介護要員」等の不足と巷間言われており、ますます不安が積もる一方です。このような状況のことから思いを致すと、どうも国が「振り込め詐欺」まがいの介護事業を行っていると思えてなりません。

この事を過日じっくりと家内と話し合ってきました。子供には子供の生活があり期待できず、心配をかけたく

ない。お互い老々介護は大変なことから、冗談まじりに互いに「首を括って」死ぬしかない。・・・と家内に話しかけたところ、家内曰く「その方が、二人にとって幸せかもしれないね・・・」と涙目に答えていました。事実このような扱いを受けるのであれば、考えざるを得ません。どうか、御党のお力でお年寄り

(匿名のメール)